

發行所 合衆 京城日報社  
 印刷所 京都府京都市下京區西門外  
 電話 二六〇二番  
 代印 京都府京都市下京區西門外  
 電話 二六〇二番

△賢所に御奉告の御儀

次に皇太子殿下賢所皇  
靈殿神殿に謁する御儀

△**壺切の御剣の由來**

孝太子は御儀式を執行に當り、天皇陛下より新に皇太子殿下に御授けあらせられたる靈切の御綬は孝多天皇の外戚藤原経基より天皇に獻じたるものにして孝多天皇が次の醍醐天皇の立太子の時、御授け相成りて又醍醐天皇は保明親王立太子の時に授け給ひたるものにして其の時よりの眞切の御綬は東宮の御資として代々傳へられたるものなり然るに孝多天皇の治暦四年の二月内裏炎上し此御綬も焼けて損したれども東箱等燒損したるのみにて刀身は舊の儘なりしかば


△桃山先帝御陵に奉告

三日午後二時勅使は桃山なる明治天皇山陵に参向崇嚴なる奉告の典を舉行せり（大阪特電）

△諸官叙勲

三日立太子御廟舉行に就き、濱尾東宮  
大夫以下東宮奉仕の諸百三十餘名に  
對し各頭書の叙勲ありたり其の重々  
る者たる如し（東京特電）

△各地奉祝


**旅順**  
 三日立太子奉祝の爲  
 開機す市民は午前十時三十分靈切の  
 鐘御親投の時刻には煙火を合圖に街  
 路に立ち市民一齊に萬歳を唱へ奉祝  
 したる事と云ふ

○對支交涉寬大意見

近く解決を見るやも知れず

○希臘王民兩軍の敵對

ツロニカ來電「相對峙せる兩個の希臘兵團の間に對敵行爲グニ一河に相れり此處にてエカテリに守備軍たる王軍は國民軍に合せん爲めグニアアよりツロニカに向つて進める砲兵大隊を致したるが結局同大隊は之を突破せり而して若干の死傷ありたり(倫敦電報)

○藏相補任

寺内菩提の靈柩せる外相及び藏相の補任に就ては外相は本月二十日前に後醍醐の豫定なる本野大使の新任を以てする

**勝田氏就任説**

▲クロイスキー氏清津佐衛門領事）二日（長崎）

▲田中重五氏（東京日吉）二日安山（大石）

**奉賀立太子禮**

大石 南山謹案

ては世上或は坂谷男の呼聲あり  
父<sup>ちち</sup>中<sup>なかつ</sup>なるかの説<sup>せつ</sup>を爲<sup>な</sup>す者ある

薩聞する所、依れば、現次官藤田主計氏就任の事に決し、同氏の後任は現主計局長市來乙彦氏次官に  
陸任近く發表あるべしと言ふ

有賀博士 支那政府

○○  
 畏みて臣か子菊に太刀佩びて  
 鶴舞ふや一天無限小春晴

○建諸式奉祝句(水の安否有志)

京元線元山迄旅行

[illegible]

北明祥へ(第三回)

「一見、お出にて、 西海生  
▲「蘇杭の蟹井澤」とは山縣鑑湖先生が流浦附近を形容せる稱呼に候  
午後二時四十分流浦着、 廣漠たる  
鐵路は絶好の閑に沿ひ、十數のト  
ンネルを一氣に打ち抜いて若る、  
岩山連立の所々に厩木に相應しき  
老松を見受け申し候

石に海抜一千九百尺の高地丈け  
吹き渡る風に著しく冷氣を感じ

動葉模範池洗浦牧場の新らしき湛  
 色の建物十數棟は、秋日を受けて  
 高原の西南に望まざる、同塙には目  
 下羊のみ飼養せしつゝあるも、近く  
 きの、夕露の淡き裡に、本山通隔の  
 松林は快よき程翠緑の色を現はし  
 居り候、松茸狩りの興りしきで  
 山人五六衆込む、南山を越て安  
 子に五六衆込む、南山を越て安  
 子に五六衆込む、南山を越て安

▲洗浦より内金剛へ入るには二  
数里、七八月頃京城織居にて自

右は計畫のみにて遂に立消となりし旨傳へ、塙橋内蔵成の老老査は説明し吳れ發賃金の荷きと道路の險惡とは自動車運轉營業を不可能な日米海上の風波頗る荒く船足何れ

洗浦三防間は鮮鐵第一の景勝

も、木枯荒ふ昨今は満山に枯木斑ハナハダ立、木の葉は悉く秋風に拂はれ居り候。深流の水も亦著しく減じ、

おるしも、コハ如何とも霞翳なく止むを得ず、愛媛館に投宿、一日を元山に費す事に致し候、不一

祝奉  
禮子太立

東京南大門驛前  
內國通運會社  
京城支店

電話 二六四一 番









京城神社の奉祝祭典

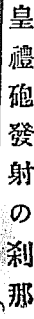
る。同時に我輩前修職所に於いて

◇修職を行なひ 谷村番主拜職に参進し聖職なる紫雲の裡に昇殿御座を賜ふれば平井番主以下寮徒一同湧つ物騒なりとの職儀を傳授し謝儀に依り番主御職

◇市民の参拜を許したる 一般参拜者の参詣する者頗る多く景色閑なる京城神社の境内から南山一帯にかけて盛装した市民の群れて非常な賑はひを呈した

龍山北練兵場の百一發の皇禮砲發射

日影晝はしき三日午前九時三十分といふに龍山駐劄軍にては龍山北練兵塲に於て百一發の皇體砲を放つた、宛刻に先ち龍山駐劄野砲兵隊よりは山上耕藏中尉引率の下に四十一名の兵員と野砲四門とは練兵塲に到着し既定の位置に於て東方に向ひ放列を敷き稍離れて後方には馬匹を整列せしめ砲一門に六名宛の射手附流し指ましとて勇ましかりし



龍山聯隊の奉祝

山形御歩兵七十八隊處にては三  
 立太千式奉祝として擡て兩下  
 の祭屋の一段所へ到るに前下  
 原影奉所の設けられ半前九衛  
 分とせられ池内同階以下に將  
 士七兵卒迄全員勲記佩用の正装に  
 御影殿前に東南に面して一同整列  
 擡て軍旗の奉迎あり次いで奉安所  
 たる皇座廳の幕きと共に池内祿  
 長の登路にて萬歳の三唱あり一同  
 に和して萬歳を奉唱し終れば奉安  
 の垂帳を閉ち軍旗の奉送をなして  
 りなく奉祝の式を閉ちたり 後池内  
 隊長は正装を以て一室に於て無付  
 酌の下士以下の祝賀を受けたり

火消姿の揃の金棒 奉祝

中祭の婆歩一同祭番關係者が百  
 うとした間官女のことしをを  
 したる群が各々隨意に散會し  
 婆室の廣邊行はれた進葬式が  
 婆室の廣邊行はれた進葬式が  
 婆室の廣邊行はれた進葬式が

南米倉町の有志連は三十名一  
 たり三味線大鼓の道樂して歩る  
 旅館組合の提灯行列は花笠、  
 裾振などいふ意氣な所を見せて  
 南山公園にて幼稚園  
 生徒の萬歳奉唱

各町殆んど總出

延びの日の十一月三日、京城市内各町  
 は思ひ／＼の意匠を凝した、催物  
 町を練り廻つた。古めかしい  
 松風會員装束行列。江戸時代  
 の町奴姿となり男六名女四  
 名の隊となり午前十時から午後三  
 時迄町一丁目から發足し各町を練  
 十名一揃ひの一團、巴城館を本据  
 して繰り出す  
 古物商組合提灯行列。は永樂町  
 丁目の寶所を本陣として二百五  
 名の大小提灯が練つて行く



土俵の上で萬

東国合相様三日目なる三日は立太  
式式の當日とて兩協會にては景氣を  
よるため一石の赤飯を一萬本の折  
詰し當日の入場観客に進呈しせ

歳三唱  
三日目の景氣


日の海

●大和町少年提灯行列  
大和町二丁目三丁目にては奉詔の爲  
三日夜小供の提灯行列をなす由  
京都商業生徒來る 京都市立商業  
修學校生徒六十名は十一月四日午  
後一時安東縣より來觀各學校を觀  
し松園旅館に投宿翌五日牡丹臺、乙

修學館校友會  
明治町京城簿記專  
BOLIVAR

學館にて四日午後一時より校友會あり  
 東本願寺(南山町) 四日後二時より三日  
 午後七時より土曜禮拝あり  
 金光教會 四日午後金光教會に於ては  
 田島光雄氏の演説大機として同教訓會  
 出

木廣木瓜 君一  
 海及物 君一  
 木廣木瓜 君一

<p><b>移轉廣告</b></p> <p>今般京城府若草町新道に移轉仕候間不取敢以紙上御通知申上候</p> <p>京城若草町四十一番地 内科小兒科 今村醫院 婦人科外科 電話一八三一番</p> <p><b>診察時間</b> 正午より夜九時迄</p>	<p><b>專賣手洗器</b></p> <p>本器の坊間有開れたる同種品と異特れる點は底部の硝子板がヤシノ葉を形して出来たに在り此の硝子の板に水が流れて居る間に硝子の板がヤシノ葉の如く水を吸ひ込んで置くから生ずる泡を洗い加ふるに價格低廉なり且便なべからざる常備品なり</p> <p>定價 壹圓 金壹圓七拾錢</p> <p>大阪市東區博愛町四丁目 <b>元萬年九平商店</b> 電話長八〇番 ●全國各地の金物店に販賣中●</p>	<p><b>奉祝立太子式</b></p> <p>△昭和九年萬國博覽會金銀牌 △明治三十九年神戶博覽會金銀牌 △明治三十五年巴拿馬博覽會金銀牌</p> <p>巧精術技 環指金純實確質金</p>  <p>二、五分片切 五、四分半切 四、六分半切 二、五分片切</p> <p>地方よりの御注文代金引換小包郵便にて迅速に御送品可仕</p> <p><b>岐商店</b></p> <p>●一七京替振●町本川仁○七一四電</p>	<p><b>醬油</b></p> <p><b>鶴</b></p> <p>町元山龍府城京 所造讓會商西關 番九十七路電 番九三七城京口警振</p>
---	---	---	--

◆空袋引換數變更◆

朝日空袋二十枚  
御持參の御方には實物壹包  
を進呈致します  
京城黄金町  
官製煙草組合

朝日空袋二十枚  
御持參の御方には實物壹包  
を進呈致します  
京橋長谷川町  
京城官煙草組合

朝日空袋二十枚  
御持參の御方には實物壹包  
を進呈致します  
仁川官煙組合

朝日空袋二十枚  
御持參の御方には實物壹包  
を進呈致します  
太田官煙組合

朝日空袋二十枚  
御持參の御方には實物壹包  
を進呈致します  
開城官煙販賣組合  
中田市五郎

奉祝立

太子禮

◆汚染した空袋引換御斷◆

東亞煙草株式會社特約店

奉祝立太子式

仁川外里  
製菓並雜物  
一式御商  
松浦菓子舖  
電話八〇一番

奉祝立太子式

仁川本町四丁目  
和洋商  
雜貨商  
南方商店  
電話一六六番

奉祝立太子式

會席洋御料理  
三吉野  
仁川宮町電話四〇八番

奉祝立太子式

汽船帆船 鮮人夫請負、駁物斗量、  
通關手續、諸雜貨物運送

仁川港本町一丁目  
福島組  
電話五三五番

主任 大平友市

仁川稅關構内出張所電話五四二番

奉祝立太子式

汽船帆船 鮮人夫請負、駁物斗量、  
通關手續諸雜貨物運送

仁川仲町一丁目  
大和組  
電話五三八番

平壤大同門内

大和組支店

鎮南浦支店

奉祝立太子式

仁川  
新谷 慶藏

奉祝立太子式

仁川  
竹田近次郎

奉祝立太子式

仁川  
林 慶太郎

奉祝立太子式

冬物品揃

小間物化粧品御商 安保商店  
雜貨系物文具御商

電話七十八番 振替京城六六番

奉祝立太子式

後藤連平



桃川如燕口演  
浪上義三郎速記

[illegible][illegible]

髪を脱するの如様のやうに成りまゐる。一度ナイスを使つた方は、二度再び、その外の染毛劑を使ひになりせん、もし未だナイスを使つた方でない方は早速試して御覽なさい。度御満足なされるに違ひありません。ナイスは染毛劑中で如何に優秀な品質を有する點を言ふ事は、各地大博覽會に出品して毎も公明なる結果の下に最高の名譽賞なる金銀牌を受領せる事に依て證據立てる事が來ます。數多の染毛劑中でかゝる榮を得ましたのはナイスのみである。要點には有名な健康本館、阪心齋橋、東京日本橋區雷門、丹平町、曾ては男子用井町小坂四十二番大賣場、七十番大坂は發賣店化粧品店、備邊で廉い染毛劑を買つ御後遊ばな。

が出來ない、江戸へ歸らば立替金は返すと云ふのであるからそれまで待つて置つたら何うだ、金、それは出來ません、江戸まで附いて行つた處で、出來るや出來ないやらそれも判らな第一入費を遣つて江戸まで行くことは出來ません、噯、それも尤もだ、立替金は何程あるか、金、左様でございませう、手廻の旗籠代、代から埋替ます、した入用を賜へて十兩と少しでございます、噯、次第によれば其の金も出さない、金、それでやから明細書を出さない、金、その方は旦那が立替を下さる、然うして下されば皆好です、と出屋、屋金兵衛が明細書を今書けよする時に、最前から傍に見て居る定吉が、定、旦那、蛇の道は蛇とやら、是は私にお任せなすつて下さいませう、一つ調べて遣りませうから、噯、然るか、それなら一つ調べて見よ、定、噯、べるには旦那権が無くちやア叶けりませんから眞下の腰差を貸して下さい、一、腰差の腰差を借りて傍に引付け、二人の子分を左右に並べ、エヘン、噯、拂ひをして定吉が前へ進んだ、蛇が其判を爲るとは、大分變つた筋だ、

[illegible]

毛を染める必要のある人が、斯くして尙非常な不自由を感ぜられてゐた所へ、暫う完成發賣されたのが、即ち今最も進歩した白髪染毛染として、家庭に採用されるナイスです。

成程専門の學者が長い間研究を費んで完成した丈であつて、ナイスで染めるゝ少しも態とらしい所が無く、何うしても染めたとは見えず、丁度生れつゝ毛の美しい人の髪やうな色澤に染まつて、東装でも日本装でも非常に結染がはし、又年とつたにでも少しも不似合の事が無い、自色の色澤に染まり、其上色方は何れの造作もなく、時間はいか二十分位の上り、保はよく、外へは絶対に附きませんから、今では白髪染といへば、人も大阪丹平、商會發賣のナイス



にはなりましたが、右から左へ立替金を返せと云はれそれが無ければ勤め奉公をする程に申すのでございませう。殿前様にも江戸へ歸るまで待つてくれと申しても何分背入れてくれません。殿前は重ねくゝ氣の毒なことである、お前が常家の主人出で居ると云はれる御人か金一様でございませう。殿前も親切でしたことであるから此の娘が勤め奉公

京坂本町一丁目  
杉本耳鼻咽喉科醫院

[illegible]

一般の人の髪と違つて、一見染めかき分ります、其上其髪は黒い色が常に附き枕に付き、顔の物候にても暗さ、直に纏けて終ふといふので、自然の美しい髪の毛のやうな色澤に染る染毛劑は在りませんして、  
 以前の其の後染毛劑は近々進歩して、  
 以上から見れば稍良いものが出来る  
 めましたがまだ、自然の髪の際、  
 都合よく染られ、染め度い事は染め度  
 いが染色が餘り不自然で劇然自立

**演藝案内**  
 櫻井 町 大正館  
 電話八七三  
 一日長前祝日堂より特別名演提供  
 南来リエンル居牛場(奇演)くき美利根  
 國来マエエステク奇社大傑作  
 東西大活劇怪虎完全三巻六千尺 △△△

染めたと見えぬ  
髪の方

株式會社  
三通信社  
株式募

[illegible]

募集要項

一 壹株の金額 貳拾圓  
(申込同時二金納付)

一 發起人引受株 壹萬貳千株  
(萬產振替を以て)

一 公募株 數參千株

一 申込期限 大正五年十一月十日限り

但請株となれる時は中途に拂切のやも知れざるを以て、東方の方は電報にて申込を置かれし此株式申込株數單位は拾株以上とし、其以下は御斷申候

▲定款を編輯成人名簿を自願見解者は發表せし株式申込用紙等は御印總次第表に上申候

株式申込 大阪市北區堂島濱通  
取扱所 壹丁目百拾番地

三通信社代理部

電話北一〇七八番  
(振替大阪三二七六番)

誓文拂聯合大賣出

間 日 五 り ま 日 五 月 一 十

▲京城▼

（いろは順）

岩野吳服店

本町三  
橋詰吳服士

本町二

ち  
ふ

唐川吳服店

南大門通五

本町二

山口吳服店

ますや呉服店

本町二

本町二

まる三吳服

本町三  
小林吳服店

櫻井町

本町二

北川吳服店

本町一  
三井吳服店

南大門通五

篠部吳服

末永吳服

▲龍山▼

元町  
岩見吳服店

元町

富井吳服

松島吳服

元町  
乙生和吳服



鵲巢居閑話

中島先生談

## 帝王の學

1126

表は薩摩、或は安芸、或は獨逸、  
其他、其國體に依て多少の相異はあ  
るが、一國の元首、即ち帝王の仕事  
と云ふものは、幾代に於て、愈々重  
多になつて來た。其の責任も益々重  
大になつて來た。

る六十歳の徳治皇帝太子で居られ  
た。グラッドストーンが、女王に向つて、  
少し國家の重要文書やなんかは、皇  
太子殿下に御見せになつたが宜から  
うと云つたが、女王は之を振つて、  
見せては要文ないが、彼れは實書を  
見せては要文ないが、彼れは實書を  
見せては要文ないが、彼れは實書を

ハ英蘭兩國の如きは、我國の例に於ては、  
僅れ入つた事であるが、最後の御決  
心を御取り遊ばされたのは、明治天  
皇陛下である。又英蘭兩國に於て、最  
初の思ひ付きをなされたのは、エド  
ワード七世であるかの如く思はるゝ  
を汽車の中に懷たへて御出でになら

海軍の方へも固よりである。陛下  
陛下が職權限の邊を歩きになる。陛下  
が、餘り御決意の發を上げた爲め、  
に駭かして御落馬になり、御登城

フルド七世といふ人は、全く社  
の長持を有つて居た人である、  
目な事はいけなと思ふた者も

便なあて

たが、英國の今日あるのは、恐らく  
腰盤にあつて、種々の誑をしたる  
それから夜半を過ぎて、陛下が解職  
されたと仰しやるから、御殿を申し  
出て出やうとする時に、實は是些と諷  
刺がある。記者ハルデンの如きは、獨逸皇帝と  
下ワルド七世、即ち朝叔父とを  
以て、巧妙振つて居る事も、馬鹿  
やうな顔をして居る叔父には、一  
ありますかと御承へ申し上げたり、陛

下して明治天皇の、伊藤公の首相  
の時、お前達は朕に向つて骸骨  
乞ふ時があるが、朕知らに其の骸  
が無いと仰しやつた。さう云ふ譯  
であるから、帝王の天威と云ふものも  
愈々重大になつて來たと言つても可い。  
英國の立君主政體でさへ、其邊

幾垣根を結うて仕舞うたと云ふ事  
の事を言うて居る。即ち英國と

此

# 黄海道の鑛山

八 鶴 野 生

## △強烈な鐵山の色

鐵山は體に深紅色の色を帯びて如何にも此處は樹林中でも殊に良質で平

## △採掘状況と將來

探掘前も年々増加の方で昨年の輸出金額は七萬噸に上つたが今年は一萬五

は一年の粉塵高は數千噸に上るさうだから價額に挽算すれば尙から税金である。

あつたが幸天候は九月以降より晴調となり、半農業者も追ひ々稼げなつて來たから此の向きなら豫定の數量に達することは左し難事ではあるまい。當山の鑛量は將來十年間で盡きる心配の無い事は事實家の無知する處であり、また官

闇が照り映れた時などは何とも一  
 は凄まじい色を見せて眼も痛いま  
 かする。斯んな銅脈であるから

で、が

却や刺々々々採掘の際には砂がら  
粉類が出来るが從來は之れを附近  
土砂と共に放棄してゐた。然る  
其れにも亦多量の褐鐵を含有して  
ることが判つたので本年からは、  
共に製鐵所に送つてゐる。聞い  
あつて半農の礦夫達には鑛山の方を  
開拓する者が多いので採掘は手不足  
であつた爲め採掘日數も少かつた結  
果、如何も産出が擧げられぬ。之れに  
は一時事務所でも餘程窮したさうで  
ては、何れ標頭を放つて詳述する考へであるが其の内面二三の點を略述するも此處には原意種の製造所が在つて年々多量の原意紙を製造し之のうちに自己の小作民は勿論況に附近近邊に販賣の獎勵に努め又た乱に頒布して

朝鮮の古城郭

姑は

國歷代城郭の變遷(兼別)  
 (一)三國時代の城郭(其三)嶺南唯注  
 すべきは古書には往々記事の誤謬あり、  
 歟せは東國輿地勝覽の如きは合に近世の初遷するにも拘はら  
 ぬ、其餘の半月城を指して石築なり  
 猶唐の太宗が高句麗を征伐せし際  
 時駐在せしところの遼東の鳳凰山  
 及び平壤龍岡の安丘城と稱するも  
 其他忠肅丹陽郡の遷遷城等は皆な  
 城にして、其時代は三國の際に當  
 る、是等は世俗に稱する迄にし  
 其價值は益山に於ける莊遷城の傳

故に實地研究家は常に斯邊の

事可<sup>レ</sup>ハ 島野<sup>シマノ</sup>

明かにして、其戦勝を過らざる  
 悟忘る可からず、而して本間賢  
 九郎 國內の二城に就ては記録し  
 に、學者の指定せしもの共に、石城  
 盛現存せるに依り、殆んど疑問の  
 地を存せざるに似たり、然れども  
 那に於てすら純然たる石城の衆  
 國昭は接近を許さざるものがあつ  
 井は開島協約と云ふ大陸客の存在  
 原因としてをつたげれども、又鮮民が  
 韓の嫉視に因はれてをつた事も其  
 原因とする節亦我官憲の態度も思  
 なく謂へば鮮人へ接衝を避けし意  
 達の温昧の態度を缺く様もあつ

城若くは府城を置きし要地なり  
 郭は當時改築或は修築せし

止や要えう

しと云ふ可からず、既に斯るあり、疑問ある以上は前掲拙志を以て容易に信す可からずと雖も、又も普通の傳聞書でも異り、殊に配るに感動を興へたそれかわらぬが吉原某社の鮮民數十名は連聲して大領事に頌表を捧げたとある又、高木領事に類像を抱ける篇に「値の恩典に無限の感謝を抱ける篇」と同領事を讃とし歡喜何を

中、其齋都城地たる、丸都、國  
二城に就ては衆説紛々として今

國內に

著するに能はず、隨て三關關係  
寺の門移して家や破色煮  
芭蕉箬も日向に移る家閑々  
山下時人に灯動く芭蕉箬  
人の家を越して野や破色煮  
花 燈黄  
藏返馬急がす連れし花野かな  
秋の奥園見わて花野かな  
鹿 燈黄  
鹿鳴くや柿宿の灯に仕入暖  
燈黄

中其の九分通りは既に築造を了  
は大小隔門の取り付け中である  
田所長の談に依ると事業成功の

左定

は三百町歩の新田を獲る計畫であるが、之に要する經費と爲々街となて相當の收穫を見る迄の金利を算したなら之れと岡面積の最上段得て遙かに餘裕があることゝなれり。當所では唯だ國家の事業として利益を度外に經營してゐることである。

○送別 江原 如水

當義門未易終、買牛無劍脫腰刀、

○有丘游草 渡部 桃陽

江原道金城所見

短垣矮屋一寒村、玉女峰前暫駐輶、

○底物丹有辨、鎮鎮西門。

評曰 卽其甚矣亦復亂。

公告

ト附  
スス

●京城府給洞七拾五番地  
一堡貳拾壹坪  
最低貳賣價額金四拾貳圓也  
右地上二建設  
木造草葺平家建本家壹棟  
此建坪拾坪六合貳拾貳寸  
最低貳賣價額金四拾貳圓也  
京城府南大門通五丁目九拾八番地  
一堡貳拾六坪  
最低貳賣價額金四拾貳圓也

●京城府南大門通五丁目拾六番  
一木造瓦葺平家建本家壹棟  
此建坪拾九坪七合七勺

元明  
地

右說賣立人朝舞衣樣式會  
不動產所有者大久保  
●京橋府前南四拾貳番地  
最低說賣價銀金七百○參圓也  
右地上二建敷  
木造草葺平家建本家壹棟  
此建坪八坪四角五寸  
附屬木造草葺平家壹棟  
此建坪四坪九角五寸  
最低說賣價銀金參拾九圓也

●京城府雲泥洞貳拾四番地  
一堡七拾坪  
最低競價額金參百四拾圓也

珠金

右說實申立人持牌  
京破府光化門通百四十拾舊地  
一宅百四十拾四  
最低說實銀金貳千四百圓也  
同所貳百拾叁番地  
一宅六拾七坪  
最低說實銀金九百圓也  
同所貳百拾一番地  
一宅四拾八坪  
最低說實銀金壹千圓也  
右說實申立人持牌  
族會議社廣成梁

●京城府武橋町參拾壹番地  
一區五拾壹坪  
最低競賣價額金四百五拾九圓半

也 既之助

一本地土瓦器平家建本家舊棟  
 此建坪拾叁坪六合九寸五才  
 此建坪拾叁坪六合九寸五才  
 附屬木造草坪壹坪壹寸  
 最低號實價銀金四拾六圓五拾錢  
 右號實產立人洪潭  
 不動產所有者洪潭  
 以上號實期日大正五年拾壹月拾  
 日午前十拾時止

君小ハ手親失ニ付支拂無之候也  
 ヨリ届出有之候間此段廣告候出  
 支拂場所 朝 鮮 銀

部定價行

平 壤 栗 卸

京 城 南 門 外 會 商 池 田 電 話 七 四 二 五 號 口 替 振

附 帶 圖 說 朝 鮮 地 質 鑛 產 圖

京 城 日 報 社 代 理 部 大 阪 屋 敷 書

[illegible]



正田儀豫ヲ病氣ノ處寮養不相許三日午後  
三時死去歟候間此段御通知申上候  
相子共々御用度御座候事御座候事  
同日午後四時三十五分相子瑞龍



齋主祝詞奏上の上玉串拜禮をなす亞

[illegible]

リボンど

出るも出や  
 夜の市中の  
 出たり出たり何處も彼處も人  
 山、少く見積つても五六萬の群集  
 丁度三日の七時頃から本町を中心  
 して永樂町、明治町、南大町通り  
 沿の通り路さへない位に混み合  
 さしにも廣い鮮銀節の大廣場も七  
 半には殆んど立錫の餘地も無い  
 其處へ新祭の行列や河村運送  
 の假裝隊、青々國など云つたや  
 一行列が一時に行合つたものだか  
 一層の混雑を來した一丁目から本  
 町を通つて見ると常にも目白三  
 丁の道が右側も左側もビタリと交通  
 杜絶して只僅かに大きな人波のま  
 に押されつゝ進む位である  
 二丁越の附近店では、旅館組合の行  
 列と中祭の行列とがガチ合ひ双方  
 から萬歳を交換するやら観客の袖が  
 張るやらの大騒ぎで二丁目から永  
 楽町の辻迄出るのに一時間と二十分  
 費した位である二丁目の交差所に  
 張して居た  
 館本町署長の談によると少  
 も五萬人位の人出はあると思ふ何  
 ら御大禮當時よりは遙かに人数が多  
 いので本署でも六十人の警員の外  
 教習所から二十二人の鷹狩を得て  
 して居るやうな大賑であるとのこと  
 國今度の假裝行列には豫め所轄の  
 警察、警察、警察に注意

り五萬人にん  
禁じてあつたにも拘らず假裝隊や  
列の方は男女の變裝したもののが  
廻りでは赤垣原藏とお染とが喧

▼宮木山に朝霧は宮石を差してに寄り切らんとする出へなを首投に美事に極まんと朝の勝▼大嵐に土山は双方一歩宛退つて仕切り飛つてバツタリ右四ツに渡り嵐左手に州の首を捲いて得意の内掛けに露土まんとするを土常陸に切返へし土州の勝▼大門に小常陸は烈しくき合ひ笑き出し小常陸の勝▼宇都

帝國公債信託株式會社朝鮮支部  
逃亡職員野櫻太郎平壤へ出張勤務  
ならしむ許爲候願事會社員有一  
付留職す京城長谷川町九一  
帝國公債信託株式會社朝鮮支部  
谷田部義有者今職退所致致  
と何等關係無之候也

十一月一日 中央鑛務所

銀線一圓三十錢以上二圓五十錢  
赤銅無火二圓五十錢以上五圓  
赤銅金次二圓五十錢以上五圓  
鐵本ニツクバ各重

米國製金張玉付乙三  
甲三圓五十  
三十二金二匁十  
二十金二匁十  
十八金二匁十  
十八金二匁十  
十八金二匁十  
十八金二匁十

乙三  
丙二圓五十

市內土地の即賣金  
投資!! 投資!! 土地  
以上七筆(地圖無料送呈仕候)

▽遊戯等 とりぐに拍手大喝 其他の盆栽 挿花など 此日の主客は秋山

出るも出や  
 夜の市中の  
 出たり出たり何處も彼處も人  
 山、少く見積つても五六萬の群衆  
 丁度三日の七時頃から本町を中心  
 して永樂町、明治町、南大町通り  
 沿の通り路さへない位に混み合  
 きしにも廣い鮮銀節の大廣場も七  
 半には殆んど立錫の餘地も無い  
 其處へ新祭の行列や河村運送  
 の假裝隊、青々國など云つたや  
 一行列が一時に行合つたものだか  
 一層の混雑を來した一丁目から本  
 町を通つて見ると常にも目白三  
 丁の道が右側も左側もビタリと交通  
 杜絶して只僅かに大きな人波のま  
 に押されつゝ進む位である  
 二丁の附近店では、旅館組合の行  
 列と中祭の行列とがガチ合ひ双方  
 から萬歳を交換するやら観客の種々  
 張るやらの大騒ぎで二丁目から永  
 楽町の辻迄出るのに一時間と二十分  
 費した位である二丁目の交差所に  
 張して居た  
 館本町署長の談によると少  
 も五萬人位の人出はあると思ふ何  
 ら御大禮當時よりは遙かに人数が多  
 いので本署でも六十人の警員の外  
 教習所から二十二人の鷹狩を得て  
 して居るやうな大賑であるとのこと  
 國今度の假裝行列には豫め所轄  
 今度の假裝行列には豫め所轄

い、會員一同旅村を擧げて十一日、  
散會したり。

**五萬人**

**香 卅餘組の假裝行列**

本 社前夜に來て萬歳を囃へて引退  
 した。そので本社前に仮装したもので大騒ぎ最後は本社を訪れたのは町田新聞部の立太子式に因だ假裝行列で有った、同夜の催し物は大小合せで三十組以上もあつた新町方面は道に色街のこととて町内は眼の覺むるやうな大人氣で第一樓の機手には博多二層加の臺を這へて八時半頃幕が閉く時分から町内一杯人で埋まつて終つた、そこへ大抵の行列が練込んで来るので新町も亦開業以來初めての大人氣であつた

**三日後の勝負**

三日午後九時大阪支局發特電  
 富永山が玉柳 兒島洋一 播磨澤勝 錦旗殿 小若島芳男 島常の花時 風車 黒城誠成瀬川大門岩比大砲 朝日洞谷細葉丸久

宮木山に朝鮮は官布を差してに寄り切らんと朝の勝つ大風に土美事に極まると朝の勝つ大風に土山は双方一歩短走つて仕切り飛つてバツタリ右四つに渡り嵐左手に州の首を捲いて得意の内掛けに歸込んだとすると土佐隊に切返けに歸土州の勝 大門に小常陸は烈しくさき合ひ突き出し小常陸の勝 土州に膝は時飛び込んで二本堂内にけに歸れ勝んだとすると門に極めけに字都の勝 源氏山に荒岩は左士源氏右手を引いて強引に吊らんし荒の堪ふのを投出して格る 加古に對馬 洋右四つとなるや高んち吊して對馬の勝 有若に伊勢濱は又左四つにて互ひに寄りを合ひ吊し入後引分は唯素人目を喜ばしにに苦んじ相撲五時四十分打出

**朝日松休場** 大阪  
 の間將朝日松は病氣の故を以て三目より休場を申し出でたり

**取組一部變更** 朝日山休のため既電四日目の取組中朝日松大錦、松の香對綾川、宮木山對伊の波、千舟龍對郷越ヶ嶽を取り消す

**明治町の宵火事**  
 立太子神倉祝に全市悉く熱狂せる十七午後八時四十五分明治町二丁目七番地無職工廠煙方より出火しるも荷の内なりし事とて近隣の者防除等臨付消防に盡力し九時に全く鎮火するに至りたるが出火原因損害等は目下調劑中なるも出多かりしも京城目接きの場所のためと彌次馬雲樂し頗る觀音泥鰌を

任務を放棄し私に明治公債會社浦項  
派出所長に就職したるは背任行為に  
計器被下)其成長谷目町一

九金細ツル 六圓五十  
九金一匁三分八

[illegible]

(同上道の東南の角半敷)

以上七重(地圖無料)造星仕候  
 投資!! 投資!! 土地  
 市内土地の即賣金  
 本 院 京 城 旭 町 一 丁 目  
 分 院 龍 山 渡 江 通 柳 町  
 診 察 一 午 前 六 番  
 中 央 婦 人 病 院  
 院 主 衣 笠 茂

父市川富治儀  
 豫て病氣の爲  
 め東京帝國大  
 學病院に入院  
 治療中の處養  
 生不相叶一昨  
 二日午前十一  
 時三十分死去  
 致候間此段生  
 前辱知諸君に  
 謹告仕候  
 追而葬送の儀は東  
 京にて相營可申候  
 十月二日  
 男 市川 次郎  
 團 貫 一  
 浦田多喜人  
 代總人友 宮地吉太郎

[illegible]



